

JARL 香川クラブ報

No. 426

令和元年8月15日



J A 5 Y D E

J A R L 第 8 回 定 時 社 員 総 会

JH5LYW

6月23日(日)「J A R L 第 8 回 定 時 社 員 総 会」が、今年も東京西新宿“ベルサール西新宿”において開催され、J A R L 香川県支部長森國OMと一緒に参加してきました。社員総会は13時に始まり、総会に先立ち「会員増強」に一定の成果のあった支部に対して表彰、賛助会員の紹介や感謝状が贈呈されました。

J A R L では、会費収入以外に大幅な収入を得ることができず、賛助会員の制度を取り入れるなど、一定の会員減少にブレーキはかかっているようですが、赤字解消には程遠いのが現状とのことです。

総会は、J A R L 会長 JG1KTC 高尾氏のあいさつに続き議長団が選出されました。議長、副議長、それぞれのあいさつの後、総会成立審査があり、社員総数 129 名中、開会時に 113 名の社員が出席、委任状 3 名、議決権行使書での参加が 5 名の 121 名(最終 126 名)でした。社員総数の過半数(65 名以上)に満ちており、総会の成立が宣言され引き続き、書記および議事録署名人が選任(森國支部長他 2 名)され議事に入りました。

第 1 号議案「平成 30 年度決算」について説明があり、赤字解消にむけ経費節減と会員増強に取り組んでいることが説明されました。監査報告の後、事前に提出されている質問状に基づき執行部から答弁があり、それに対する討議が熱心になされました。

いろいろ意見がありましたが、中でも、プロ歌手 2 名のアマチュア無線広報大使の選任に対するもの、また、FM水戸というラジオ番組を通じたアマチュア無線の広報活動の理由や方法・効果について、さらに、会長が良く各地に出向いているがそんな費用は無駄ではないか?費用対効果は?経費の無駄遣いではないか?と追及がありました。

1 号議案について、挙手による採決に入り議長団の目視による集計が行われましたが、賛否拮抗のため挙手の数を正確に読みますとのことで、J A R L の社員が列ごとに数を集計し、賛成 71 票、反対 52 票、保留 3 票と賛成多数で可決されました。

10 分間の休憩の後、第 2 号議案「理事二名解任の件」について審議が開始されました。社員 21 名による社員提案権が行使され、高尾会長と日野丘専務理事に対する解任要求について、一般社団法人等に関する法律第 43 条第 2 項および第 44 条第 1 項に基づいて行使書が提出され議案として総会に諮られました。

会長および専務理事による理事会進行や独善的 J A R L 運営に対する追及に激しい攻防が繰り広げられ、中でも、ある社員が「理事会および J A R L の状況について理事一人ひとりの考えを述べてもらいたい」とか「皆さん、この議案が承認されたら後をどうするかという不安があるでしょうが、それはすでに決まっております。総会終了後に臨時理事会を開催し、新しい会長と専務理事を選任します。会長には種村理事が就任し、専務理事の職務も当面兼務することになっています」という発言があったとたん「そんなことをこの場で言うべきことではないだろう」などと、至る所からブーイングが発せられ、



議長判断で第2号議案の採決が行われました。

議長団の目視による集計で第2号議案は否決との確定がなされました。当然、この結果を不満として粉砕するだろうと思っていると、「一般社団法人法により採決の結果、賛否の差が1/10以下であれば、同一議案の再提出が出来るのだから、正確に賛否の数を数えるべきだ」と意見がありましたが、「賛否の差は1/10以下です」と議長の一言で、同議案の再提出可能に納得したのか、その後はたいした意見も出ずその他議案に移り17時11分、第8回通常総会は閉会しました。

総会前には、終了が19時は過ぎるだろうと覚悟していましたが、ある意味期待外れで、いったい何が言いたかったのだろうかとの疑問に感じました。会長・専務理事が気に入らないから引きずり降ろせなのか、総会はお祭りみたいなものだから少し派手に花火を打ち上げてというのか、本当にJARLの抱える課題や将来に危機感をもって意見・質問をしているのか疑問に感じる総会でした。

コンテスト参加報告

「JA5YDE」がコンテストに参加しました。

オールJA5コンテスト(7/20~21)

バンド	交信局数	マルチ
1. 9MHz	28局	18
3. 5MHz	86局	37
7MHz	74局	29
14MHz	36局	22
21MHz	34局	19
28MHz	23局	16
50MHz	7局	5
合計	289局	147
得点	42,483点	
総交信局数	292局	
OP: JH5LYW		

JARL主催コンテスト

JARL主催コンテストその他クラブ
対抗部門があるコンテストに参加した
時には、サマリーシートの登録クラブ
対抗欄に

登録クラブ 番号	36-1-1
登録クラブ 名称	JARL香川クラブ

と記入するようにお願いします。

個人のアクティビティー向上とクラブの活性化のため、どしどしコンテストに参加しましょう。



JA5PNI 星野尾OM ご逝去のお知らせ

JA5PNI 星野尾 力氏が平成31年3月20日に白血病のためご逝去されました。

長年にわたりJARL香川クラブに在籍され、特に2013年クラブ忘年会では各局と親交を温められ、久しぶりにお会いしたことを昨日のこのように思い出します。

また、昨年(2018年)のフィールドミーティングでは、入院先の高松市民病院(宮脇町)からわざわざタクシーで会場まで足を運ばれ、大いに語り、大いに盃を傾けられたことは会場におられた各局の記憶に刻まれたことと思います。

入院しているとお聞きしていましたが、



元気なお姿を拝見し参加の各局と談笑していたのが記憶に残っています。

今年のクラブ総会には「参加します」と返事が来ていたので、無理しなくてもいいのと思っていたのですが、総会当日には霊魂となって私たちに会いに来てくれていたのかもわかりません。

満82歳(享年84)の人生を、家庭に、仕事に、そして趣味のアマチュア無線に一生懸命生き抜いた星野尾OMのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(合掌)



「2019 年全国 ARDF 競技大会開催案内」

開催日及び開催地(北海道)

令和元年10月5日(土):クラシック競技144MHz帯部門(札幌市)

令和元年10月6日(日):スプリント競技部門(千歳市)

受付日:令和元年8月1日(木)~8月31日(土)(消印有効)

※参加費等の送金締切りは、9月13日(金)必着といたします。

受付場所:千歳市東雲会館2階(両日共) 千歳市東雲町1丁目10番地

参加資格:国外を含み、参加資格の制限はありません。

競技の実施方法:JARLWeb参照

参加費:20歳以上 JARL会員5,000- 非会員10,000-

19歳以下 JARL会員3,000- 非会員6,000-

※両部門とも参加の場合は合計から2,000円(19歳以下は1,000円)を割引

※上記の年齢は、令和元年12月31日現在の満年齢とします。

※参加費には傷害保険料、昼食代を含みます。

こどもの国の電波教室

JA5TOP

昨年7月に予定されていた香川県電波適正利用推進員協議会による、さぬきこどもの国での電波教室が主担当する方の体調不良で中止となっていました。今年2月、私あてにこどもの国より「今年の夏は電波教室をしてもらえるか検討していただけますか」と問い合わせがありました。過去の電波教室で名刺交換していた為と思われましたが松山の事務局とも相談、主担当者の考案・設計者とも打合せの上、引き受けることになりました。

実施日が7月21日(日)に決まりました。主担当者は運転免許証も返納した状況で担当できなくなっており、私が担当することで、まずOBの先輩推進員の方と材料の引き取りを行いました。製作するものは昨年出来なかった金属探知器で内容をチェックして使えるもの、買い足しするものなど整理を行い、準備を進めました。こどもの国との打ち合わせも数回にわたって行いました。



4月から5月には推進員全員に試作品パーツを渡し、知識のレベルアップを図るため、6月12日の推進員総会に組み立てて持って来るよう依頼しました。6月初めから当日に向けて香川県の広報や報道機関、チラシなどPR作戦が行われてもう後戻りはできません。

6月12日の総会に持って来てくれた物が9人中1人は未組み立て、3個が作動しないと報告を受けました。製作された金属探知器を持ち帰りチェックしたところ組み立てミスが2個、1個は他のアッセンブリ

一交換で作動しました。パーツ不良はチェックできないことも分かり、不良率も不明です。また製作の速さが大きく違うので時間調整用の金属探知器による「ひらがなを探してシールを貼ろう」のコーナーを準備した。これも模造紙に約50cm角のひらがなを書き、それに沿ってアルミ箔を貼り、ベニヤ板に貼り付けて透けて見えるのを青い模造紙で隠してその上にシール貼りの模造紙を貼り付けました。午前、午後用2枚を重ね貼りして工夫しました。細かいパーツも50個の袋に詰めて準備。午前、午後ともに20名の受付予定でしたが申込みがたいへん多く抽選となるのでどこまで受付を増加出来るか抽選前に相談があり、24人まで増やすことになった。もちろんパーツ類に余裕がなくてその信頼性も自信はありませんがやむを得ませんでした。

いよいよ7月21日当日8時半から関係者全員で準備、9:45より受付開始するとすぐ席はうまりました。10時、こどもの国の担当者から推進員の紹介、四国総合通信局から挨拶があり、電波に関する知識のDVDが上映されました。その後製作開始です。進行係の私は配布物の確認をして製作説明書を十分読んで工作にかかるよう指示したが午前中は小学校1年生が5人、2年生が3人と低学年が多く、また二人の子供を保護者1人で連れて来ている人が居り、時間がかかりそうな雰囲気です。途中電線の半

田がとれたりトラブルもあったようでスピードに乗れない人が続出。保護者の方も手伝いに一生懸命ですが製作ミスも多く正常に作動する人がなかなか出てきません。それでも終了 15 分前くらいから完成した金属探知器を使ってシールを貼ってくれる親子が次々と現れてひらがなも読めるようになり、たいへん楽しそうでした。一方でそろそろ終了時間が来て、まだ未作動の子供に交換品を渡すよう指示を出したところ 8 個も用意していた交換品が無くなり、3 人の子供は動かない物を預かったまま終了をむかえました。事前打ち合わせで交換品や渡せない人は書面に記載を頼んでいたのですが 3 人の子供達は交換品無しで帰らせてしまった。ショックです。

私は昼の食事もう喉を越さずに午後の部の時間を迎えました。午後は進行係を別の



に頼んでいましたので工作指導係です。周りの遅れそうな人に手を出し、口を出して 8 人の子供達の探知機を完成作動させました。一人のお母さんは何度も手を挙げて応援を求めたせいか、完成後子供とシール貼りを終えて何度もお礼を言われました。午前の失敗を受けて午後は進行係も受講者を引っ張り、推進員の動きも良く、時間調整用のシール貼りも順調で「でんぱ」のひらがなも綺麗に描かれていました。ただ作動し

ない物がさらに 4 個発生して交換品も無くショックは大きくがっかり。

午前、午後、あわせて 15 個も作動しない物が発生してこどもの国に対しても格好のつかない事態でした。こどもの国の担当者にお断りをして 15 個（8 個は交換品を渡している）を持ち帰り修理して完動品を子供たちに送れるよう対処する約束で帰途につきましたがさすがに元気が出ませんでした。

その当日 15 個中 13 個を私が持ち帰りましたが調査の結果、製作ミスが多くトランジスタが反対向きとか発光ダイオード、電解コンデンサーの土が逆接続、ブレッドボード（基板）への差し込み間違い、抵抗の胴体差し込み位置間違いでショウトしているものなどがありました。その中で 11 個が修理出来て作動しました。とりあえず子供たちに送り返す 7 個以上が確保できてホッとしました。気が付くと日付が変わり 1 時が過ぎていました。疲れたが気持ちは晴れ晴れしていました。受講者は「説明書を読まない」「説明を聞かない」「工作手伝いの保護者はあてにならない」が良く分かりました。

こどもの国との連絡で 25 日に予備を含む 8 個を名前が分かるものは動かなかった理由書をつけて子供達に送れるようにお返ししました。とりあえずこれで終了しましたが私は悔しくてなりません。

事前に事務局やこどもの国へは「部品も無くパーツ作りにも大変な時間と労力がかかるのでこの金属探知器は作れません、これが最後です」と言い切っていました。当日応援に来てくれた退任している先輩推進員に金属探知センサー部分が造れたらもう一度リベンジしたいと内心を明かしています。

フィールドミーティング参加記

JG5JXW



今年もフィールドミーティングがやってきました。今年もJA5YDEも運用します。12:30頃現地に到着して荷物をおろし、JA5YDE運用を開始しました。前回（一昨年）はマイコールで40局、クラブコールで70局できたので今回も期待して運用していましたが、コンディションの悪さに負けました。15時過ぎまでCQを出していましたが暑いし眠いし小腹は減らし、で中断しました。

15時過ぎにJA5CAU平井さんが到着し、今回も持参した厨房機器を設営した後、2人で買い出しに行きました。前回買いすぎた事を反省し「買いすぎ注意」をモットーとしていましたが今年も買いすぎました。ごめんなさい。今年の平井シェフのメニューは、イカの姿焼き、シシャモ姿焼き、ホルモンとキャベツニンニク炒め、メインディッシュは豚バラ肉の丸焼きでした。他に、牛バラ焼き肉、椎茸・ジャガイモ・なすび・タマネギの鉄板焼きに、焼きおにぎりと続き、メの焼きそばは誰も食べたい人はいませんでした。満腹！満腹！ごちそうさま。「アメリカンスタイル」BBQの様な感じの、焼けたものをみんなに配っていくスタイルでした。シェフが仕切っている場合はこの様な方式も良いものです。

今回は、ゲストとしてJI5SAI平田さん親子が参加されました。息子さんはSWLをされていて、交信している所を見てみたいと言うことでしたので、まずは私の運用スタイルを見て頂きました。パソコンを使ったり、パドルも使えばタテ振り電鍵でも交信する所を、運良く2局程相手がいたので見せることが出来ました。

SSB運用についてはJA5CAU平井さんをお願いしましたが、コンディションの悪さと移動用リグ50W出力では難しいようでした。その後JI5XTP坂内さんがCWでCQを出しても空振りに終わったようです。そんな色んな人のオペレーションを見られるのは、クラブに入会すればこそですから、香川クラブに入会勧誘をしました。入会してくれることに期待しております。

無線談義で盛り上がる人、ただひたすら飲んで食べたり（私）する人もあり、それでも時間は過ぎて一人減り二人減りと少なくなり、お泊り組のみとなったところでお開きとなりました。今年も三好会長の事前準備から最後の片付けまで大変感謝しております。またご自宅で丹精込めて作られたものを差し入れていただきました方々にもこの紙面を借りてお礼を申し上げます。また来年もよろしくおねがいします！

[参加者] JA5BNY/JA5CAU/JA5IJL/JA5TOP/JA5UVT/JG5JXW/JH5LYW
JI5SAO/JI5XTP/JJ5CAE

[ゲスト参加者] JI5SAI 平田 昌三さん/JA5-4510 平田 晶央さん (計12名)

フィールドミーティングの写真



布団干し、ご苦労様です



好評につき今年もイカ焼き！



今年のメインディッシュ



平井料理長もしばし歓談



宴もたけなわ



お先にクラブメンバーだけで乾杯！

第 62 回フィールドデーコンテスト

JI5XTP

「ほんまに行くん。こんなに暑かったら死ぬでえ」とXYLが言った。当日までどうしようかと迷っていたがXYLの言葉より移動の誘惑が勝ち移動運用を決めた。山より海が涼しいかもと移動地はさぬき市の“大串自然公園”にした。何時でも移動できるようにと移動車にはすべての装備(無線設備)を積み込んでいるから世話無く出発できる。



フィールドデーコンテストは18:00からの開始なので16:00にホームを出発し、途中のコンビニで食材を調達。夜、暑くて寝られなかったらとビールも購入した。

現地に到着すると7MHz用“ラデックスのV-DP”を設営、駐車場にはだれも居ないので20mの延長コードを延ばして発電機を遠くに設置した。こうする事で発電機の音を気にせずコンテストに没頭できる。また“ラデックスのV-DP”アンテナは垂直系の釣り竿アンテナよりノイズが少なくパイルになってもコールサインが聴き取りやすくコンテストには

適したアンテナで好きだ。

普段は閑散としている周波数もJARLコンテストになると空き周波数が無くなるほど混み合う。コンテスト30分前に周波数確保のため公園アワード“PK-香川県44 大串自然公園”をサービスした。18:00ジャストになると蟬が鳴きはじめるように一斉にCQ TESTと賑やかになった。時間が進むにつれコンテスター達も熱が入りはじめたのか自局のサイド近くで強烈な信号を発して割り込んでくる。こんな局に負けてたまるかと交信していると突然車内が真っ黒になった。発電機が停止したのだ。準備万端と思っていたが、こんな時に限って懐中電灯を忘れてきており、スマホのライトを頼りに確認すると燃料切れだ。いつもだと発電機を車の近くに置いているので燃料切れ近くになると発電機が息をするようなり燃料切れを教えてくれるが、発電機を20m離れたのがあだとなった。燃料を入れ再度起動にかかるが、何回も始動グリップを引っ張っても起動しない。やっとの思いで起動させるのに10分も要した。再度コンテストに参戦とリグの前に座ったが、すでに周波数は別局



が使っていた。空き周波数を探したが見つからず呼出しに徹してコンテストの一日目が終了した。

昨夜は寝苦しく睡眠不足気味だが4時に起床、パンとコーヒーで早めの朝食すませた。今日のアンテナは7MHz帯から50MHz帯にすぐQSY出来るようにと20m弱のロングワイヤーとアンテナチューナAH-4を設営。設営が終わりかけた頃、東の水平線から綺麗な朝日が顔を出して「今日も頑張り！」と励ましてくれているようだった。これに気を良くして二日目のコンテストに参戦したが、昨日



とはうって変わってノイズと隣接局に悩まされ、絶えず周波数を変えなければならず厳しい運用となった。また、車内も35°C以上になり、水分を補給しながら運用をしたが体力の限界が近づいてきたのでコンテスト終了時間の1時間前に撤収をした。

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。
原稿サイズ：B5サイズ 出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送 付 先：E-mail

Fax

郵 送 先：〒761-

★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL香川クラブでは新会員を募集しています。

昨年はクラブ結成70年(1948年10月結成)になりました。
これからも更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新会員の募集にご協力ください。

*お知らせ

JARL香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局の免許状を取得された方は、その都度、お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

会員の皆様には令和元年度分会費納入をよろしくお願いします。

JARL香川クラブ報

発行責任者	JH5LYW	三好	伸幸
編 集 者	JA5TFJ	横田	寿夫
	JA5TOP	平賀	正明
	J15VUZ	市原	義博
	J15XTP	坂内	信洋
	JG5JXW	坂井	進史